

木造家屋建築工事におけるその他の環境等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	当事業所にて、作業スペースの除雪作業をしていたところ、屋根から雪が落下してきて、そのまま尻もちをつき負傷した。	60～9	1
1	9～10	新築工事現場で、廃棄物を外へ運搬時、玄関外のステップが凍結していたことにより、足を滑らせ、踏みとどまった時に右膝を痛めた。	25	—
2	14～15	住宅新築現場で（基礎完了）準備の際排雪作業中、不安定な場所での作業や、積雪量も多く、重い雪での排雪作業中、右肩に痛みが発生し作業が出来なくなった。重機では出来ない所は人力での作業となる。	60	—
2	11～12	店舗住宅部分改修工事現場にて、付近の歩道を木材を右手に抱えた状態で移動中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、かばった左腕を路面につき骨折する。	50	—
2	18～19	新築建売住宅工事現場にて現場確認作業中に、足元の状態が悪く、歩行中にバランスを崩し転倒した。その際に排水枡に足を強打し、右足小指を骨折した。	26～49	30
5	10～11	個人宅リフォーム工事において、敷地から1m位下にある浄化槽を点検する為、傍にあった延石を掴んで降りようとしたところ、延石がぐらつき落ちて来たため避けようとした時、更にその下の崖（約3m）へ落下し、右肩を強く打ちつけ負傷した。	69～9	1
12	11～12	会社敷地内において片付け終了後、歩いて移動中に路面凍結にて転倒した。その際に左手首を負傷し受診した。	65～9	1
		新築現場にて、脚立足場で作業中、クレーンで吊り上げている壁パネルを納める場		

12	13~14	所へ誘導していた際、風は強かったが、平家だったので慎重に作業を進めていたところ、突風にあおられて約2mの高さから転落し、左上部の額がヘルメットにぶつかり負傷し出血、左腕を打撲した。	68	1 ~ 9
12	11~12	被災作業員は、事務所外柵工事中、作業員と鉄板を運んでいたとき、窪みにはまり転倒した。	36	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html